

＜説教要旨＞キリストとのきずな①起きて、歩きなさい ヨハネ 5:1～9

ベテスダの池のそばにいた 38 年間病気であった人がイエス様によって癒されるという話です。この人の様子をよく見てから、イエス様は「よくなりた
いか？」と声をかけられました。するとこの人は「よくなりたいたです」とか
「そんなこと聞かなくても分かるでしょ」とも言いませんでした。彼は「誰
も私を池に入れてくれないのです」と言ったのです。彼の苦しみは病気の苦
しみや辛さというより、自分のことを本当に思い、心配し、支え、助けてく
れる人がいない、つまり自分を本当に愛してくれる人がいないことこそが彼
の苦しみだったのです。人との愛の関係が失われていたのです。つまり孤独
ということですがこれは今日の社会においても共通の問題です。

主イエスは「では私があなたを池に入れてあげよう」とは言われませんで
した。どうしてでしょうか？この人が自分のことを心配し、支えてくれる人
がいたらこの人の人生は支えられていくのでしょうか？ そもそもこの人の
苦しみを起こしているのは「池に最初に入ったら癒される」という言い伝え、
つまりたちの悪い迷信です。それは科学的でないというよりもこの人の人生
に悪影響を与えているということです。長くいる間に「同病相哀れむ」、連帯
感があるかもしれませんが一旦水が動くと、その連帯感は直ちに崩壊します。
そしてこの池はすさまじい競争の修羅場と化すのです。人間の天使的な面と
悪魔的な面を一瞬にして見ることになるのです。主イエスは「起きて、床を
取り上げて歩きなさい。」と言われました。床はこの人の人生を縛っていたも
のの象徴です。「起きて、歩きなさい」とは神のことばに信頼して歩みなさい
ということです。起きて、歩く力は私たちの中にはありません。人に期待し
ても出てきません。神が信仰によって歩む人に与えてくださるのです。

2020 年

喜びと感謝をもって主に仕える

いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

すべての事について、感謝しなさい。